

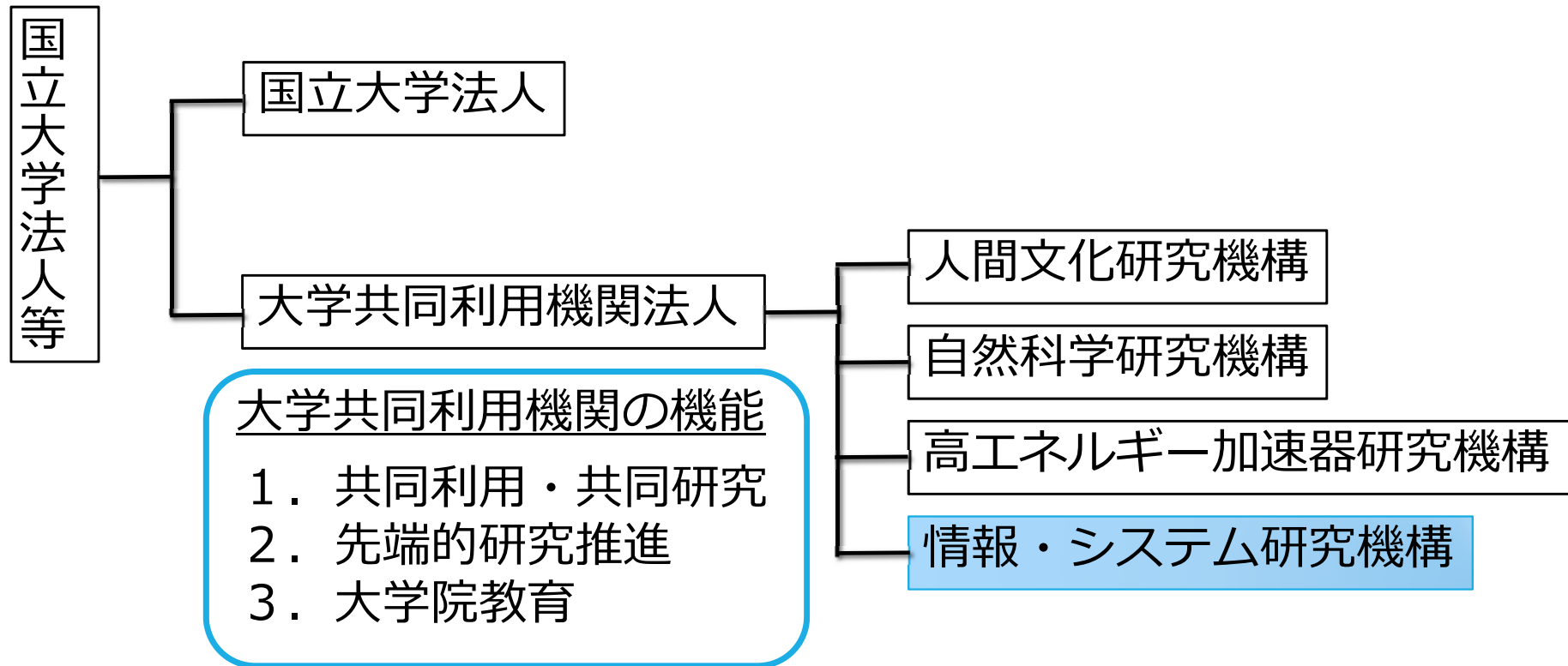
URA発IRの取り組みについて

-情報・システム研究機構におけるIR活動の概要と事例-



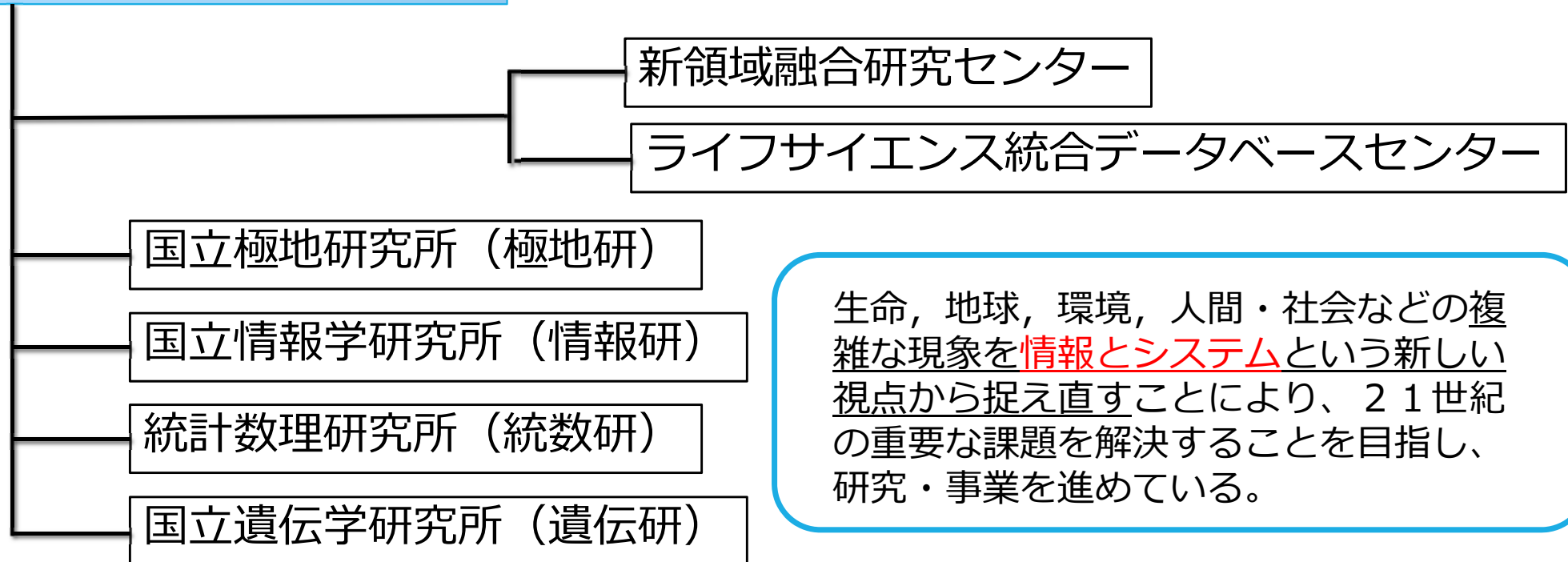
大学共同利用機関法人情報・システム研究機構
総合企画本部 URAステーション
リサーチ・アドミニストレーター 横尾 成子

大学共同利用機関法人とは



情報・システム研究機構とは

情報・システム研究機構



生命，地球，環境，人間・社会などの複雑な現象を情報とシステムという新しい視点から捉え直すことにより、21世紀の重要な課題を解決することを目指し、研究・事業を進めている。

当機構におけるURAの配置

- 平成25年度研究大学強化促進事業採択
総合企画本部「URAステーション」設置
- 現在URAステーションには17人の
URAが所属
機構本部（港区）5人，極地研（立川市）2人，
情報研（千代田区）4人，統数研（立川市）4人，
遺伝研（三島市）2人



当機構URAとIR活動の関係

○当機構URAがIR活動を守備範囲に含めるようになったのは・・・

- ・ 執行部の戦略立案に係る支援にはデータに基づいた分析が必要
- ・ URAによる書誌情報分析，機構内外の研究動向調査などの実施

○IR体制の整備

- ・ これまでURAに限らず，教員や事務職員，図書館員等による情報収集・分析が行われてきた
- ・ IR担当のURAを配置。分担や連携について整理が進められている

当機構におけるIR活動

1. 共同利用・共同研究に係るIR

- ・ 共同利用・共同研究による研究成果の把握（謝辞や報告）
- ・ 大学への貢献を把握する
（共同利用・共同研究実施状況の把握やアンケート）

2. 先端的研究推進に係るIR

- ・ 論文数の把握
- ・ 科研費等研究費の獲得状況の把握
- ・ 人材の多様性（女性・若手・外国人研究者割合）の把握

当機構におけるIR活動の今後の展開

1. 共同利用・共同研究に係るIR

他大学共同利用機関法人や附置研等と情報共有を行い、
当機構の特性に応じた効果的なIRの手法を模索する

2. 先端的研究推進に係るIR

- ・ 各分野（極域科学，情報学，統計数理，遺伝学）の特性に応じた研究力分析・評価の実施
- ・ 機構内で統一的な研究力分析・評価の実施

researchmapについて

<http://researchmap.jp/>

平成27年9月2日

科学技術振興機構

情報・システム研究機構

本日の内容

- researchmapとは
 - 利用方法
 - 他システムとの連携
 - 活用事例
-
- リサーチマップシンポジウム (9/16)

researchmapの画面例 <http://researchmap.jp/>

日本語 | [English](#) | [新規登録](#) | [ログイン](#)

researchmap

▶ [ホーム](#) | [研究者検索](#) | [コミュニティ検索](#)

▶ [トップページ](#)

- [学術・研究イベント](#)
- [人材募集](#)
- [研究者ブログ新着!](#)
- [研究講義資料新着!](#)
- [researchmapとは](#)
- [FAQ](#)
- [お問い合わせ](#)
- [サービス利用規約](#)
- [新規登録について](#)
- [研究者のみなさまへ](#)
- [リンクについて](#)
- [R&Rシンポジウム2013](#)

ピックアップ研究者

紛争解決に
貢献できる人文学へ。

埼玉大学
鶴見 太郎 准教授



公開日: 2015/08/03



山はある、
と思わなければ登れない。



統計数理研究所
小山 慎介 准教授



公開日: 2015/07/01

「しかも安全に」を
実現する量子の通信



情報通信研究機構
佐々木 雅英 室長



公開日: 2015/06/01

ゾウのゲノムから
わかったこと。



東京大学
新村 芳人 特任准教授



公開日: 2015/05/01

[記事一覧を見る](#)

researchmapとは

- 日本の研究者総覧DB。国内の研究者情報の分散・非効率性を解消し一元管理を目指す
- 運営主体はJST。現在は、JSTからの委託により、国立情報学研究所（NII）がシステムを研究開発

researchmap

日本語 | English | 新規登録 | ログイン

ホーム | 研究者検索 | コミュニティ検索

トップページ
 学術・研究イベント
 人材募集
 研究者ブログ新着!
 研究講義資料新着!
 researchmapとは
 FAQ
 お問い合わせ
 サービス利用規約
 新規登録について
 研究者のみなさまへ
 リンクについて
 R&Rシンポジウム2013

ピックアップ研究者

紛争解決に
貢献できる人文学へ。
 埼玉大学
鶴見 太郎 准教授
 公開日: 2015/08/03

山はある、
と思わなければ登れない。
 統計数理研究所
小山 慎介 准教授
 公開日: 2015/07/01

「しかも安全に」を
実現する量子の通信
 情報通信研究機構
佐々木 雅英 室長
 公開日: 2015/06/01

ゾウのゲノムから
わかったこと。
 東京大学
新村 芳人 特任准教授
 公開日: 2015/05/01

記事一覧を見る

COUNTER

新井 紀子

J-GLOBAL 更新日: 15/05/22 09:10

研究者氏名	新井 紀子 アライ ノリコ
eメール	arai@nii.ac.jp
所属	国立情報学研究所
部署	社会共有知研究センター
職名	センター長・教授
学位	博士(理学)(東京工業大学)
その他の所属	総合研究大学院大学

つながるコンテンツへ

プロフィール

東京都出身。一橋大学法学部およびイリノイ大学卒業、イリノイ大学大学院法学修士。博士(理学)。専門は数理論理学(証明論)・知識共有・協同学習・数学教育。2001年より、教育機関・公共機関向けの情報共有基盤システムNetCommonsを開発。現在、3000を超える機関でポータルサイトやグループウェアとして活用されている。2009年より学術研究情報の循環型情報活用基盤システムResearchmapを開発。2011年にResearchmapとJSTが提供するReaDを統合、ReaD&Researchmapとして提供している。2011年より人工知能プロジェクト「ロボットは東大に入れるか」プロジェクトディレクターを務める。主著に「ハッピーになれる算数」「生き抜くための数学入門」(イーストプレス)、「数学は言葉」(東海堂)、「コンプレックスは仕事で済む」(ロバート・エドワーズ)、「ロボットは東大に入れるか」(イン

researchmapとは（歴史）

年月日	内容
平成10年8月1日	[ReaD] 提供開始（JST、当時 科学技術振興事業団 ）
平成14年度	[ReaD] 文部科学省国立情報学研究所が実施してきた「大学等の研究活動を総覧するデータベース構築のための調査」および「学術研究活動に関する調査」を引き継ぐ
平成21年4月	[Researchmap] 提供開始（情報・システム研究機構 新領域融合研究センターの研究プロジェクト として開発）
平成21年度	[ReaD] 研究機関情報、研究者情報、研究課題情報の日本語詳細画面をJ-GLOBAL（科学技術総合リンクセンター）上で表示開始
平成23年11月1日	[ReaD&Researchmap] 研究者情報の登録・更新システムとして、ReaDとResearchmapを 統合 したReaD&Researchmapを提供開始。
平成26年4月1日	[researchmap] ReaD&Researchmapはresearchmapに名称を変更。

researchmapとは（収録情報）

カテゴリ	登録件数	情報項目
研究機関	3,383機関	研究機関名称、所在地、沿革、研究分野、事業概要など
研究者	240,445人	氏名、所属機関、職名、研究分野、研究テーマ、研究業績など

平成27年4月1日現在

researchmapとは（登録対象者）

- 日本国内で研究活動を行っている研究者、
海外で研究活動を行っている日本人研究者
- 研究支援者
- 博士課程の学生

researchmap登録状況

	項目	登録率	登録者の 平均登録数		項目	登録率	登録者の 平均登録数
1	研究キーワード	66.9%	5.4	12	所属学協会	65%	5.4
2	研究分野	69.7%	3.2	13	Works	21.7%	10.2
3	経歴	45%	6.0	14	競争的資金等の 研究課題	72.7%	4.2
4	学歴	65.7%	3.4	15	特許	5.4%	7.9
5	受賞	20.2%	3.3	16	社会貢献	0.2%	7.1
6	委員歴	26.1%	5.1	17	その他	2.5%	4.1
7	書籍等出版物	38.8%	9.1	18	学位	63%	-
8	MISC ※注) 参照	64.8%	46.8	19	性別を 明らかにしている人	80.8%	(登録者全体に 占める男女比) 男66.6% 女14.2%
9	論文	10.4%	38.0				
10	講演・口頭発表	17.1%	46.0				
11	担当経験のある科目	3.3%	8.4				

平成26年5月時点

注) ReaDの論文に登録されていたものをMISCに移行したため、MISCの登録率が高い

利用方法

- 研究者自身による登録・更新
 - Webインターフェース
 - 4通りの初期登録方法
 - 科研費研究者番号を記載して登録
 - 既に登録されている研究者からの招待による登録
 - e-Radからの登録
 - 研究業績を1件記載して、登録申請（確認後に招待）
- 研究機関による一括登録・更新
 - Webインターフェースで研究機関担当者がアップロード、夜間更新

一括登録・更新を実施している機関

国立大学	公立大学	私立大学	高等専門学校	
北海道地方				
小樽商科大学				
東北地方				
東北大学	福島県立医科大学			
山形大学				
関東地方				
茨城大学	横浜市立大学	埼玉医科大学	東京都市大学	
筑波大学		千葉工業大学	立教大学	
群馬大学		和洋女子大学	立正大学	
お茶の水女子大学		慶應義塾大学	亜細亜大学	
東京学芸大学		国士舘大学	国際基督教大学	
東京農工大学		上智大学	玉川大学	
電気通信大学		専修大学	東京女子体育大学	
横浜国立大学		中央大学	武蔵野大学	
		東京電機大学	明星大学	
		東京理科大学	創価大学	
		日本大学	日本大学短期大学部	
		日本女子大学	亜細亜大学短期大学部	
中部地方				
金沢大学			金沢工業大学	金沢工業高等専門学校
福井大学		金沢医科大学		
愛知教育大学		諏訪東京理科大学		
		日本福祉大学		
近畿地方				
滋賀大学		京都産業大学	龍谷大学	
神戸大学		同志社大学	大阪経済大学	
奈良女子大学		佛教大学	大阪産業大学	
滋賀医科大学		立命館大学	関西大学	
中国地方				
岡山大学	広島市立大学	山口東京理科大学		
四国地方				
香川大学				
高知大学				
九州地方				
九州工業大学	宮崎大学	中村学園大学	立命館アジア太平洋大学	
熊本大学	琉球大学	福岡大学	中村学園大学短期大学部	

※実施機関の中で同意いただいた機関のみ掲載しています。

研究者がresearchmapでできること

- 業績情報の管理を一元化
 - 異動、転職しても所属を変更して引き続き使える利用できる
- 研究者氏名、所属、経歴、学歴、その他各種業績の登録
- 業績情報の登録時には、外部データベースの情報を利用することが可能（フィード機能）
 - Amazon、ArXiv、CiNii (article,books) 、DBLP、e-Rad、J-GLOBAL、KAKEN、ORCID、PubMed、Scopus
- SNSとしての利用（コミュニティ、ブログ）

利用方法（業績のフィード）

基本項目 業績リスト 権限設定 シボレス設定

日本語 英語(English)

外部システムからの

- 研究キーワード
- 研究分野
- 経歴
- 学歴
- 委員歴
- 受賞
- 論文
- Misc
- 書籍等出版物
- 講演・口頭発表等
- 担当経験のある科目
- 所属学協会
- Works
- 競争的資金等の研究課題
- 特許
- 社会貢献活動
- その他

以下の外部システムから業績リストを取り込みます。

経歴の取り込み

- ・ 科研費データベース

論文の取り込み

- ・ DBLP
- ・ PubMed
- ・ ORCID

論文・Miscの取り込み

- ・ CiNii Articles
- ・ J-GLOBAL (Web of Scienceの論文を一部含む)
- ・ arXiv
- ・ Scopus

書籍の取り込み

- ・ Amazon
- ・ CiNii Books

競争的資金等の研究課題の取り込み

- ・ 科研費取得状況

特許の取り込み

- ・ J-GLOBAL

編集を終了 閉じる



Scopusからの論文取り込み

Scopusから、あなたの論文を取り込むことができます。

著者の姓 Jibu 著者の名 Mari 所属 検索

日本語CVIに取り込む 英語CVIに取り込む

論文 総件数: 1件

全選択 全解除

Jibu, Mari ID:6602875180
Doshisha University, Kyoto, Japan

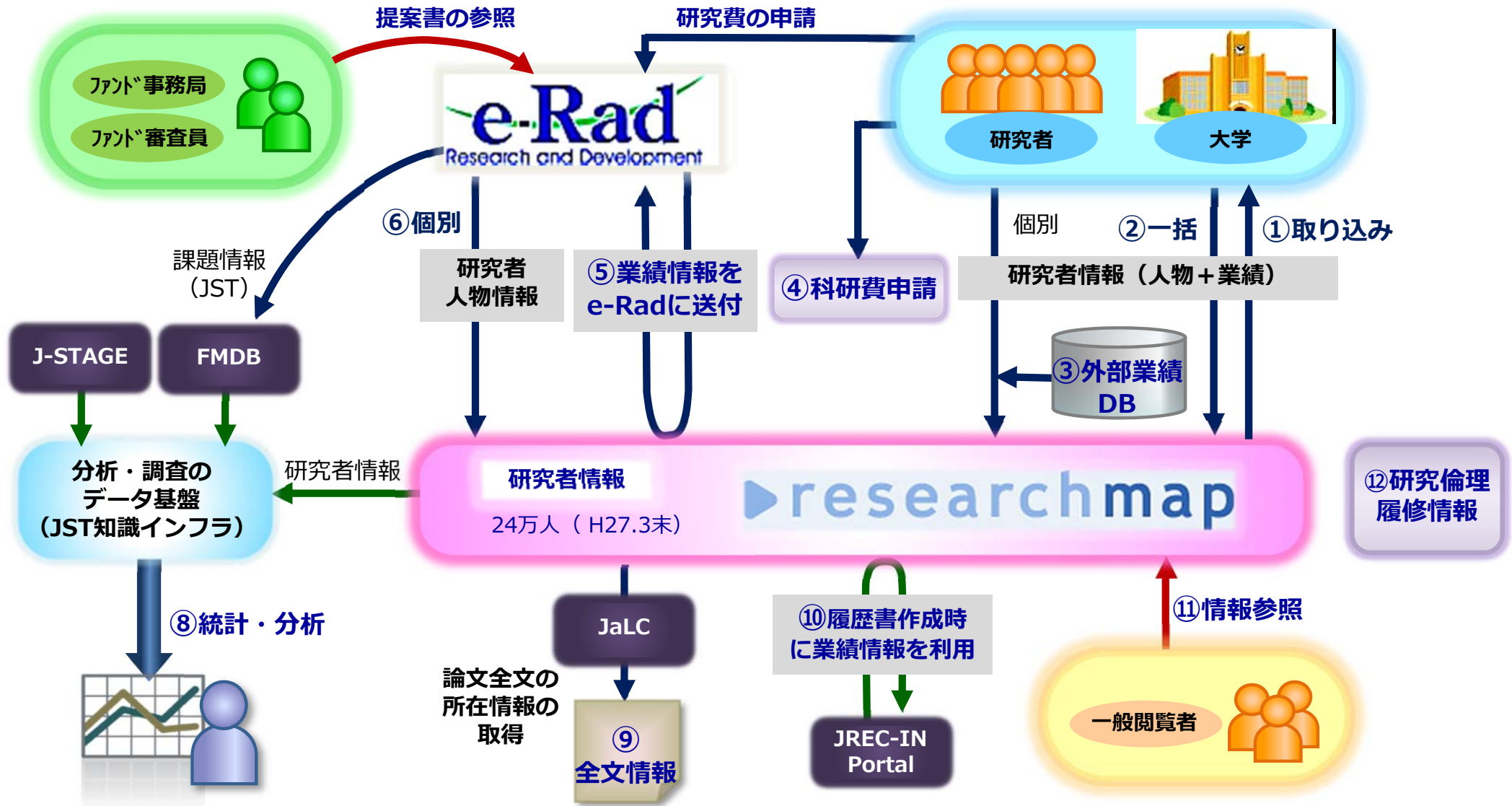
【収録論文: 15件】 全て表示

- Refined R&D indicators for pharmaceutical industry
- Mapping of scientific patenting: toward the development of 'J-GLOBAL foresight'
- An analysis of the achievements of JST operations through scientific patenting: Linkage between patents and scientific papers

全選択 全解除 総件数: 1件

決定 キャンセル

他システムとの連携 (現状)



researchmapの活用

- researchmapをマスターデータとして使用する大学の増加
 - ① 研究者情報を自機関のDBに取り込み、研究者総覧として整備
 - ② 自機関ではDBを持たず、リンクを貼って利用
- 大学共同利用機関 情報・システム研究機構の「羽ばたけ日本の女性研究者」との連携
- e-Radによる競争的資金申請時にresearchmapの業績データを使用
- JSTのファンド管理においてresearchmapの研究者情報を利用

researchmapの活用

- 研究者人材データベース（JREC-IN Portal）との連携により、JREC-IN Portalで履歴書入力の際にresearchmap業績データ等を取り込み可能に。
(平成26年10月)

学位		researchmapからフィード		リセット
年	月	学位		
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(称号名) 必須	※該当ない場合は、「なし」と入力 <input type="text"/>	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(授与大学等名称)	<input type="text"/>	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(学位論文題目)	<input type="text"/>	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(称号名)	<input type="text"/>	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(授与大学等名称)	<input type="text"/>	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	(学位論文題目)	<input type="text"/>	

[上に戻る](#)

researchmapの活用

- 学校教育法施行規則の「教育研究活動等の状況についての情報を公表するものとする」での活用
 - researchmapの各人のページであるマイポータルへのリンクや、大学名で検索した結果の画面へのリンクを大学のホームページに用意するなどresearchmapを利用した情報の公開でも良いとの見解を文科省から得ている

researchmapの活用

- 機関が自組織に所属する研究者と、他組織の研究者との共同研究や、産学官連携などのコーディネート機能の活用が可能
- 研究戦略の検討や立案に使える「研究業績分析ツール」の公開を本年度内に予定

自らの強み・特色を知るために ～これからの大学のIRとは？～

- 9月16日（水）午後1時30分～午後5時40分
- 一橋大学一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2）
- 入場無料、申し込みは以下のURLから(申込〆切：9/14)
<http://researchmap.jp/public/symposium2015/>
<https://researchmap.jp/public/symposium2015/entry/>
- URAや大学IRに関係する方、研究者情報を扱う方にお勧めします
- 研究IRの今後やURA活動について、JSTの新たな情報分析基盤、researchmapの活用事例、研究力分析機能などを紹介します